

て常に用ふる物と知るべし、

○按ズルニ、屏風四帖トアルハ、四枚折ヲ云フニアラズ、四隻ノコトナリ、古今著聞集ニ、四枚屏風を二帖めしよせさせ給ひて云々トアルニテ知ルベシ、

〔門室有職抄〕御所御装束之事

屏風ハ至極ノ長五尺也、又四尺也、三尺也、普通六枚也、車寄屏風ハ四枚也、

〔太平記〕南都北嶺行幸事

大塔ク三品親王ハ、時ノ貫首ニテ御坐セシガドモ、今ハ行學共ニ捨ハテサセ給テ、朝暮只武勇ノ御嗜ノ外ハ他事ナシ、御好アル故ニヤヨリケン、早業ハ江都ガ勁捷ニモ超エタレバ、七尺ノ屏風未必シモ高シトセズ、略下

〔江家次第〕十四大嘗會御禊

宸儀渡御南殿、略○中 先是皇后御於南殿御帳後六尺。御屏風。内御座、

〔法成寺攝政記〕寛弘三年三月三日乙巳、御帳東邊立六尺、兩面御屏風爲中宮御在所、

〔類聚雜要抄〕四五尺屏風。略○中 面弘二尺八寸二分、

〔西宮記〕七月相撲召仰

内取先於本府有内取仁壽殿壇上立御椅子若大床子御後立五尺御屏風、○下略

〔台記別記〕久安三年三月廿八日辛卯、入道前大相國七十御賀御装束儀、高陽院土御門寢殿南庇東

第一三間爲入道殿御所、副北戸并廂御障子東西行立、四尺五寸泥繪御屏風二帖、彈正忠宗茂

〔延喜式〕内匠賀茂初齋院并野宮装束

屏風六帖、五尺二帖、四尺四帖

〔西宮記〕七月七月十六日相撲式